

脱炭素モデル地区のPRの考え方

●脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」の概要

(1) 脱炭素アクションみぞのくちとは

- 川崎市は、2050年の脱炭素社会の実現に向けて2020年2月に2050年のCO2排出実質ゼロを表明
- 同年11月に策定した脱炭素戦略の2030年に向けた取組の一つとして**脱炭素モデル地区「脱炭素アクションみぞのくち」**（DAM）を創設
- 多くの市民・事業者・団体が取組を進めており、脱炭素社会を実現するためのポテンシャルがある地域として、**高津区溝口周辺地域**を設定

目的

脱炭素化に資する身近な取組や先進的な取組を集中的に実施し、取組の効果や利便性を実感してもらうことで、市民一人ひとりの**環境配慮型のライフスタイルへの行動変容**を促進し、脱炭素社会の実現を目指す



Carbon Zero Action
MIZONOKUCHI

(2) 脱炭素アクションみぞのくち推進会議

- 脱炭素の取組を実施している地元企業や地域団体など、溝口地域で活躍する事業者・団体等が集まり、取組の展開や広報などを連携して推進
- 各主体の取組に関する**情報共有・発信**、イベント等の開催、会員事業者の**つながり作り、事業マッチング**などを実施
- 令和4年12月現在の会員数は39

主な会員

- ・東急（株）
- ・川崎市地球温暖化防止活動推進センター
- ・ENEOS（株）
- ・みぞのくち新都市（株）※ノクティ
- ・マルイファミリー溝口
- ・洗足学園中学高等学校
- ・（株）川崎フロンターレ
- ・かわさき生活クラブ
- ・JR武蔵溝ノ口駅
- ・富士通（株）
- ・Amazon



(3) 脱炭素先行地域

- 2030年度までの**民生部門の電力消費に伴うCO2排出実質ゼロ**を目指す「脱炭素先行地域」として、2022年4月に国から選定された
- 国の交付金を活用しながら全国のモデルとなるよう、関係者と取組を推進

取組① 川崎市高津区溝口周辺に所在する民間施設群（脱炭素アクションみぞのくちの一部）

事業推進主体：「脱炭素アクションみぞのくち推進会議」の会員企業

（特徴）大都市の中心部の市街地・交通要衝

商店街・商業施設・オフィス・業務ビル・製造工場等が所在

取組② 川崎市のすべての公共施設群（約1,000か所）

事業推進主体：川崎市

（特徴）民生業務部門で市域最大の温室効果ガス排出事業者

(4) 展開中の主な脱炭素アクション

- 水素エネルギーの展開
 - ・ENEOS川崎高津水素ステーション
 - ・自立型水素エネルギーシステム（JR武蔵溝ノ口駅）
- 市民の行動変容の促進に向けた実証事業
 - ・シェアサイクルポート
 - ・給水スポット
 - ・プラスチックごみの回収
- 再生可能エネルギーの導入
 - ・ノクティプラザ
 - ・東急線（全線）
 - ・富士通ゼネラル
- 多様な主体の連携による脱炭素アクション（プロジェクト）創出
 - ・キッズYouTuberが脱炭素の取組を紹介する動画
 - ・市民の行動変容アプリ

会員一覧やその他の取組についての詳細は以下URLを参照
<https://carbon0-mizonokuchi.jp/>



脱炭素モデル地区のPRの考え方

●モデル地区の取組を加速させていくための方向性

(1) 課題認識

- 脱炭素アクションみぞのくち（DAM）に参加する多くの事業者が優れた脱炭素の取組を持っているが、単発・ぶつ切りの発信となり個々の取組の関連性が見えない状況
- 事業者の目に、DAMがシナジーを生み出すようなより一層魅力的な投資先として映る必要がある
- 市民にとっては「自分たちの生活が様々な場面で脱炭素に関係している」ということを実感しにくい

→様々な取組を引き続きみぞのくちに集め、展開していくとともに、今後は市民・事業者「自分たちも脱炭素の取組に関わっている」と実感させる

(2) 解決策の例

- 「みぞのくちでの生活の中で何気なく脱炭素に貢献している」という事実を一連のストーリーとして描くことで、当事者意識を喚起
- さらに、ストーリーに沿った広報やアクションを起こすことで情報が拡散し、勝手に／自然と話題になっていくことを狙う

既に行われている脱炭素の取組

- ・モデル地区で活躍する事業者の強み
- ・面白い取組 など

掘り起こし



「生活の中で何気なく脱炭素に貢献している」ストーリー

付加価値



ストーリーに沿った広報・アクションの実施



情報が拡散・勝手に／自然と話題に

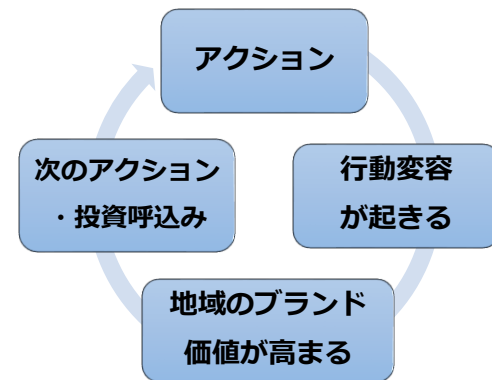
市民「話題になっているこのエコ商品を試してみよう！」（行動変容）
事業者「溝口ならウチのエコな商品が売れそう！」（次の投資）

(3) 目指すPR（ブランド化）の方向性

- 個々の取組を市民生活に結びつける一連のストーリーを描く
- ストーリーを伝えていく広報・シンボリックなアクションを通じて多くの市民・事業者に対し情報を拡散
- 話題性を高めてムーブメントを起こし、他地域に波及させる

- 右のような「正のスパイラル」を生み出すことで、自然とアクション・投資が集まり、ニュース化を進める
- 結果、行政の手を離れて自走することを狙う

→先行投資として市が広報を行い自立への道筋をつけることが肝要



(4) ブランド化に向けたPR会社の活用

- 効果のあるPRを戦略的に実施するためには、広報のプロであるPR会社や広告代理店等の伴走支援や専門的なノウハウの活用が必要不可欠
- 自由発想のプロポーザルにより「楽しい・面白い」と「気候危機」の隙間に「一本筋を刺す」魅力的なストーリー・広報戦略の提案を受ける

PR会社等の支援が必要な業務の例

伴走支援 →コンサルティング業務

- ・ターゲットの明確化（ペルソナ設定や課題整理など）
- ・資源（DAM推進会議メンバーの強みや面白い取組など）の掘り起こし
- ・多くの人に「刺さる」ストーリーづくり
- ・ターゲット、ストーリー等を踏まえた広報戦略の策定

専門的なノウハウ

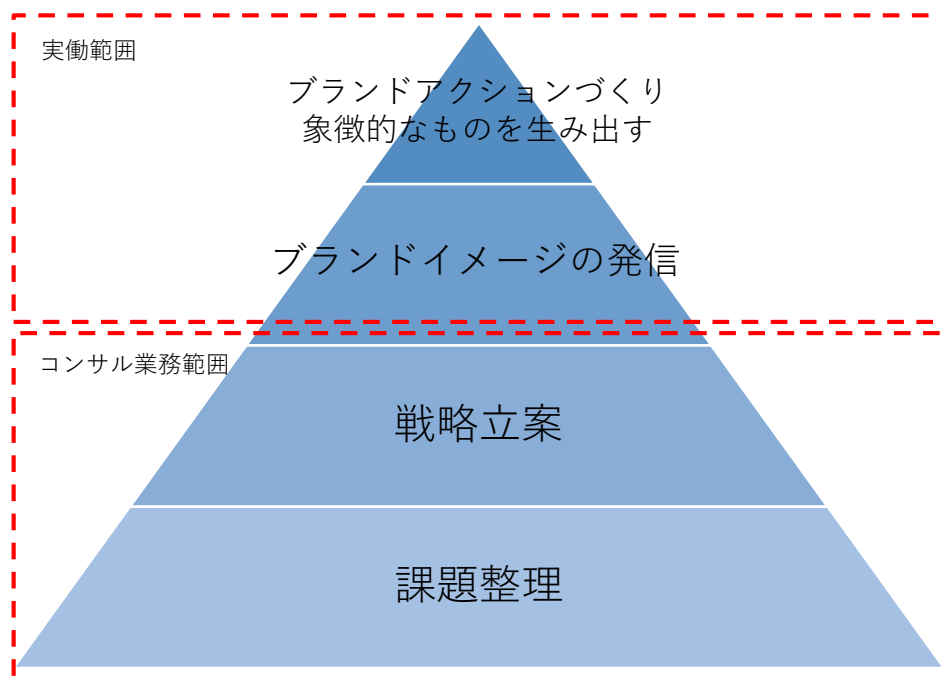
- ・多様な手段を活用した情報発信
→既存の広報手法に加え、メディアリレーションを活用
- ・魅力的、シンボリックなアクションづくり
→ニュースバリューを持つアクションの見極め

●PR事業のイメージ

「楽しい・面白い」と「気候危機」の隙間に“一本筋を刺す”ことを得意としているPR会社等にプロポーザルで提案をいただくことで、脱炭素の「見える化」、「みそのくちのブランド化」を図る。

(1) PR事業の全体イメージ

- 戦略に基づく広報の実働
→ブランドイメージ発信のためのPR、ブランドアクションづくり
- 広報業務の土台となる課題整理～戦略立案の部分に関する伴走支援
→コンサルティング業務



(2) 戦略的広報活動の企画立案及び支援

- 広報・ブランドアクションの実施までの道筋をつけていく**ために、定期的なアドバイザーや調査・ヒアリングとともに、課題整理、戦略の企画立案、ブランドアクションの提案をしていただく

広報課題の整理

→リサーチを元に、課題や傾向を分析、まとめる

広報戦略の企画立案

→広報課題を元にアイデア提案

ブランドアクションの提案

→広報戦略に基づく具体的なアクションの提案

伴走支援

- 定例ミーティング (月1回想定)
- 日々のメールや電話等でのやり取り

調査・ヒアリング

(3) 脱炭素アクションみそのくちに関するPR

- 広報戦略において設定した**ストーリーやブランドイメージを象徴的に市民・事業者に発信**するため、PRの企画立案、計画策定、PR活動の実施
- 特設ウェブサイトの管理、更新等

(4) ブランドアクションづくり

- 提案したブランドアクションの実施
- メディアによる**記事・ニュース化**や、SNS等での**話題化**を図るため、アクションの手法に応じた必要な広報

(5) 効果測定、分析

- 実施した広報、ブランドアクションについて、アンケート結果、アクション参加者数、SNSの反響、報道状況等の実績を調査し効果測定
- 効果測定の結果を踏まえ、効果的な広報手法やアクションの内容について分析し報告

●（参考）令和4年度「脱炭素アクションみぞのくち広場」開催概要

（1）概要

- 日時 令和4年11月12日 11時00分～16時00分
- 会場 JR武蔵溝ノ口駅南北自由通路（メイン会場）
川崎市地球温暖化防止活動推進センター
ノクティ連絡通路
マルイファミリー溝口入口
- 出展団体数 14（うちメイン会場出展は14団体）
- 出展料 無料
- 運営 事務局（受託業者）及び川崎市

（2）会場について

- メイン会場は川崎市にて確保
- メイン会場以外は、サテライト開催を希望する出展者にて確保

（3）什器・備品等について

以下について、各出展団体から希望数を聴取の上、事務局（受託業者）にて手配

- 長テーブル（W180cm×D45cm） 24
- パイプ椅子 38
- イーゼル 12
- ポスター等掲示用パーテーション（W90cm×H180cm） 12
- 飛沫防止用クリアパーテーション（W180cm×H900cm） 7
- フロアスタンド（L字スタンド・A3掲示用） 12
- イベント名バナー用スタンド 4
- 各ブース名称サイン 14
- イベントチラシ（A4両面・カラー） 500
- イベントポスター（A2片面・カラー） 20
- スタンプラリー台紙（A5両面・カラー） 200

※ その他、消毒液、筆記具など

（4）その他詳細

以下URLのイベントチラシのとおり。

https://carbon0-mizonokuchi.jp/pdf/news_20221101.pdf

（4）当日の様子（メイン会場）等



11月12日(土) 11:00~16:00 プレゼントの引換も 16:00まで

脱炭素アクション みぞのくち広場

エコちゃんずを探そう! スタンプラリー

スタンプラリールール

JR武蔵溝ノ口駅南北自由通路のフス3箇所と、同時間帯のフス3箇所の計4箇所に行って、エコちゃんずのスタンプの押そう!
スタンプを4箇所集めると先着200名様にオリジナルグッズをプレゼント!

※プレゼントの引換場所は、ノクティ2-11階にある川崎市地球温暖化防止活動推進センターのみで行っています。
ラリー中にプレゼントの規定数を超える場合がありますので、その際はご了承ください。

ラリーポイント① JR武蔵溝ノ口駅南北自由通路 総合窓口フス

ラリーポイント② マルイファミリー溝口 1F 駅前入口 横袋トコヤフス (株)

ラリーポイント③ ノクティ2-11階 推進センター

ラリーポイント④ ノクティ2-11階 推進センター